



中村明一の 「音色」と「間」

壮絶!炸裂する音のマグマ
～虚無僧尺八から現代音楽まで～

主催：「月の舞台」運営実行委員会
協賛：医療法人イキイキ会、株式会社スパイラル
後援：岡山県、岡山市、山陽新聞社、山陽放送、
企業メセナ協議会、
関西元氣文化圏

◆日時

2010年2月28日(日)
15:00～16:30

◆会場

月の舞台
岡山市北区兵団3-32スパイラル5階
(JR宿舎北隣)
TEL086-222-6367
www.spiralring.jp/tukinobutai



岡電バス:

妙善寺・三野行「南方交番前」

宇野バス:

三野方面行「南方交番前」・
東岡山方面行「就実高校中学前」
下車徒歩5分

◆料金

前売3,500円、当日4,000円
全席自由／開場は開演の30分前
定員60人

◆チケット取扱・お問い合わせ

「月の舞台」運営実行委員会事務局
TEL.086-222-6367
岡山:ぎんぎや TEL.086-222-3244
岡山シンフォニーホールチケットセンター
TEL.086-234-2010

尺八の歴史は約2000年前まで遡ることができます。正倉院にも収蔵されていますし、聖徳太子も吹いたといわれています。

尺八は、長い歴史の折々に、日本人の心を乗せて奏でられてきた楽器といえるでしょう。江戸時代には禪の修行の一つ「吹禅(すいぜん)」として、虚無僧と呼ばれる僧たちによって、尺八が吹かれました。精神世界を突き詰めた彼らが生み出した音楽…「虚無僧尺八」。それは、「音色」と「間」で形成された、世界に類をみない、オリジナリティ豊かな音楽なのです。

中村明一氏は虚無僧尺八に注目し、全国各地に虚無僧尺八の伝承者を訪ね、直接教えを受けました。さらに同氏は、虚無僧尺八の古い録音物をデータとして、コンピュータを駆使した周波数解析で一音一音の音色を科学的に分析し、その音楽を現代に再構築しました。

また、永年の探求の末に日本古来の呼吸法=密息(みつそく)を蘇らせて体得し、さらには、従来尺八では不可能といわれてきた「循環呼吸」(吹きながら同時に息を吸い、息つぎなしに吹き続けるという演奏テクニック)の独自の方法を開発して、その表現力を大きく広げています。

世界各地でセンセーションを巻き起こしている中村明一の「音」のマグマを、ぜひとも体感していただきたく、「古典」と「現代」を代表する中村明一氏のお届けします。

プログラム

●第一部 虚無僧尺八の世界

虚無僧尺八(古典)のベストセレクションにより、「音色」と「間」を楽しんでいただきます。

●第二部 現代音楽の世界

オリジナル曲を中心に、尺八のもつ現代性をクローズアップします。
コンテンポラリーダンスとのコラボレーション作品「源流を 着る 舞う 奏でる」も。

◆演奏・お話／中村明一(なかむら・あきかず 作曲家・尺八演奏家) 〈写真撮影:小藤 栄〉

横山勝也師、多数の虚無僧尺八家に尺八を師事、NHK邦楽技能者育成会卒業。米国バークリー音楽大学にて作曲とジャズ理論を学び、最優秀賞を得る。米国ニューイングランド音楽院大学院修士課程作曲科およびサード・ストリーム科で奨学生として学ぶ。日本古来の呼吸法「密息」と、独自に開発した循環呼吸(吹きながら同時に息を吸い、息つぎなしに吹き続ける技術)を自在に操る尺八奏者として、古典(虚無僧尺八)をよりどころとしながら、ロックやジャズ、現代音楽、即興演奏、コラボレーション等、多岐にわたる活動を展開。外務省、国際交流基金などの派遣により世界30カ国余で公演。世界40局余の放送局に出演。尺八と箏によるロックバンドKokooを結成、邦楽器の新たな可能性を追求して注目を集めている。作曲家としても活躍し、NHK、ドイツ国営放送、フランスのラヴェル弦楽四重奏団、フィンランドのジャン・シベリウス弦楽四重奏団、ドイツのムント・トリオ、米国のミュージック・フロム・ジャパンなどから委嘱多数。文化庁芸術祭優秀賞(2回)、コロムビア・ゴールドデン・ディスク賞、松尾芸能賞を受賞。文化庁舞台芸術創作奨励賞受賞、日本現代音楽協会会員、CD「虚無僧尺八の世界 京都の尺八」虚空ビクター/VZCG-680)他多数。著書「密息」で身体が変わる。(新潮社)、洗足学園音楽大学大学院講師、桐朋学園芸術短期大学講師、朝日カルチャーセンター講師。

◆出演・お話／京都ダンス・イクスチェンジ(Kyoto Dance Exchange コンテンポラリーダンス)

2007年米国のダンスカンパニー「リズラーマン・ダンスイクスチェンジ」のワークショップ・公演に参加した中年男性を中心に結成。年齢に縛られないダンスを求めてシニア、とくに男性をコンテンポラリーダンスに誘導すべく活動している。08年アルティ・ブヨウ・フェスティバル(京都府立府民ホール・アルティ)、09年左京区文化フェスティバル(京都芸術劇場・春秋座)。出演メンバーは植木明日香(ダンサー・インストラクター)、乾光男(建築家)、北川道裕(京染呉服卸)、藤井幹明(フリー)、巨敏治(教員)。

◆布提供・お話／寺田豊(てらだ・ゆたか 京絞り)

京絞り・寺田主宰。パリ・バカテル城美術館、京都・泉涌寺「カルダン40年の歩み展」、「京都近代染織展(山辺知行監修)」、三木睦子主催「伝統の美 絞りの華」展ほか出展。勅使河原宏創作「草に月」作成、1996年パリ国立ギメ美術館が作品「雲に萩」購入、2006・08年京都絞工芸展知事賞受賞、08年歌舞伎役者・中村芝雀丈主演「人魚の恋椿」羽衣の衣装製作、京都市・京都文化博物館共催「源氏物語千年紀 匠の美と技」に几帳「夢浮橋」出展・同館収蔵、観世流能楽師・片山伸吾は義弟。

○月の舞台

旧家に代々受け継がれてきた能舞台の継承と再生を図るべく、2006年1月に岡山市街の旭川河畔に誕生した「月の舞台」は、伝統と現代が共存する舞台芸術の優れた精華を披露するとともに、併設された介護付き有料老人ホームや医療関係施設との連携により芸術文化と医療福祉を融合させ、未来につながるアートと地域社会の新しい出会いを醸成してまいります。

○企画・制作・上着製作／伴野久美子(ばんの・くみこ 現代美術家)

1978年甲南大学経営学部卒業。美術を元永定正氏、帽子デザインを平田和子氏に師事。現代日本美術展、朝日現代クラフト展ほか入選。毎年個展を開催。93年から舞台プロデュースを手がける。05年から「古典の新芽」[なかなか あえない芸能]・07年から「見て 聴いて 参加して」シリーズを開始。

関連企画

●源流を 着る 舞う 奏でる Vol.3 マニッシュ&ダンディ

日時／2010年2月27日(土)15:30～17:00
場所／神戸ポートアイランド ジーベックホール (三宮よりポートライナー北埠頭ゆき、中埠頭駅下車すぐ前)
TEL.078-303-5600 URL:http://www.xebec.co.jp
入場料／前売3,500円、当日4,000円、終演後の懇親パーティー参加費1,500円(越智守の創作料理とワイン)
チケット取扱／ジーベックカフェ(電話予約)平日10:00～17:00 TEL.078-303-5604
主催・お問い合わせ・チケット取扱／パフォーマンス イン ミュージアム実行委員会(パンノ)TEL&FAX 078-822-2545
①京絞りで作った上着を身に纏った、コンテンポラリーダンスと虚無僧尺八のコラボレーション②トーク「密息と身体&着物という文化」
③中村明一の「音色」と「間」～虚無僧尺八から現代音楽まで～ ワークショップとレクチャー／11:00ダンス、12:00密息、13:00京絞り

●寺田豊 京絞りの世界～和装から服飾まで～

日時／2010年2月27日(土)～3月7日(日)10:30～18:30 水曜休廊 場所／神戸・元町 丸太や2階 ギャラリー「響(ひびき)」入場無料
神戸市中央区元町通1-7-2(元町1番街入ってすぐ山側) TEL 078-331-1031 URL:http://marutaya.com
京絞作家・寺田豊の新作展示会。着物や帯ならではの美は必見。男性用にも新機軸を展開。伴野久美子が京絞りで作った洋服(ジャケット、コート、ブルオーバー、ドレス)も出品。